

## 西武バスと群馬大学

### 自動運転技術の社会実装にむけた共同研究契約を締結

西武バス株式会社  
国立大学法人群馬大学

西武バス株式会社（本社：埼玉県所沢市、取締役社長：渡邊一洋、以下：西武バス）と国立大学法人群馬大学（所在地：群馬県前橋市、学長：平塚浩士、以下：群馬大学）は、自動運転技術の社会実装（バス路線における自動運転車両の導入、実証実験の実施など）に係る共同研究契約を締結しました。

西武バスでは、MaaSや自動運転などモビリティイノベーションにかかる取り組みが急速かつ活発に進みつつある状況において、来るべき自動運転の実現した社会を見据え、自動運転技術の導入・実現による事故のない安全・安心な輸送サービスの提供や乗務員不足など、公共交通事業者が持つ課題に対応し、積極的にその問題解決に取り組んでまいります。

群馬大学は、2016年12月に「次世代モビリティ社会実装研究センター」を設置し、関連分野の企業や自治体との連携・協力関係のもとに、地域社会に根付く自動運転による移動サービスの創出に向けた研究と社会実装を目指した活動を進めています。限定された地域専用の自動運転研究開発に取り組み、実証実験の実績を蓄積しながら、技術的にも社会的にも自動運転に対応していく社会の実現を目指します。

今後、自動運転「レベル4」の実現を目指して、2020年度内に自動運転車両による走行実験の実施を具体的に検討いたします。

両者は、継続的に共同研究に取り組むことにより、自動運転技術の社会実装の実現に貢献してまいります。

詳細については別紙のとおりです。

(別紙 1)

## 1. 目的

- ・安全・安心なバス輸送サービスの提供に向けた課題解決。
- ・乗務員不足への対応。
- ・レベル 4 の社会実装にむけた大型バスによる自動運転化の研究の推進。
- ・自動運転バスの実用化に向けた、運行サービス・実務における各種技術の検証。
- ・西武線沿線を中心としたエリアにおける社会受容性の醸成。
- ・持続可能な街づくりのためのモビリティサービスの検討。

## 2. (参考) 自動運転レベルについて

レベル	概要	オペレーター
0	運転者が全て実施。	運転者
手動		
1	システムが前後（走行・停止）、左右（ハンドル操作）のどちらかを実施。	運転者
運転支援		
2	システムが前後（走行・停止）、左右（ハンドル操作）の両方を実施。	運転者
部分自動化		
以降、システムが全て対応		
3	特定条件下でシステムが全て実施。システムの対応が困難な場合は、運転者が対応。	システム (運転者対応の必要性)
条件付運転自動化		
4	特定条件下でシステムが全て実施。	システム
高度運転自動化		
5	システムが全て実施。システム対応の継続が困難な場合でも、運転者の対応は不要。	システム
完全運転自動化		

我が国の自動運転の定義については、SAE International（米国自動車技術者協会）の基準を採用しています。

(別紙2)

### 3. 各社の概要

西武バス株式会社

所在地 : 埼玉県所沢市久米 546-1

取締役社長 : 渡邊 一洋

主な事業内容 : 旅客自動車運送事業 (路線バス・高速バス・貸切バス)

ホームページ : <https://www.seibubus.co.jp/>

国立大学法人群馬大学 次世代モビリティ社会実装研究センター

所在地 : 群馬県前橋市荒牧町 4-2

学 長 : 平塚 浩士

センター長 : 太田 直哉

ホームページ : 「群馬大学」

<http://www.gunma-u.ac.jp/>

「次世代モビリティ社会実装研究センター」

<http://crants.opric.gunma-u.ac.jp/>